

## 平成26年度事業報告

### (総括概要)

昨年の我が国経済は、国の経済政策等により大手輸出関連企業を中心に収益は改善し、景気は緩やかな回復基調にありました。しかし、企業の大半を占める中小企業においては、消費税率引き上げ等に伴う国内需要の冷え込みや円安による原材料価格の高騰、エネルギーコストの負担増など、まだまだ景況感に乏しく厳しい経営状況で推移しました。

こうした経済状況に加え、高齢化、人口の市外流出、企業数の減少等々、地域が抱える諸問題が山積する中で、当所では、行政をはじめ関係機関、関連団体等とも連携を図りながら、地元企業の発展と地域活性化のため、積極的な事業展開に努めて参りました。

主な事業の取り組みとして、商工業を中心に元気な美濃市づくりを目指す「商工業等活性化プロジェクト」の推進では、新たに「まちゼミ」を実施、24店舗31講座の開催により、各商店等の魅力アップに繋がりました。また、五か国語対応へと構築した美濃アプリでは、本美濃紙のユネスコ無形文化遺産登録を記念した「おみくじキャンペーン」を実施し、市外からの誘客とアプリの利用促進を図りました。そのほか、4店舗での「あゆにんめん」の販売促進、糖尿病予防教室を追加した社員健康プロジェクトの推進、5月に開催の長良川アウトドアフェスティバルでは、県内外から多数の来場者があり、自然景観豊かな本市の魅力アピールすることもできました。

会員事業所に対する相談・指導等に関する業務では、巡回での事業所訪問による情報提供や相談活動をはじめ、景気動向調査の実施、個別指導講習会の開催など、経営支援の強化に努めて参りました。

人材育成事業では、企業人としての基礎知識やリーダーとしての心構えなどを学ぶ新人社員・中堅管理職セミナーのほか、生産効率の向上、新商品開発、経営革新、IT活用など企業力を高めるための専門的セミナーを数多く開催しました。また、販路拡大事業では昨年度に続き東海地方最大の企業展「メッセナゴヤ」へ美濃商工会議所として5企業で出展、6万5千人を超える来場者に市内企業のPRを行いました。このほか、市立美濃病院と連携した健診事業やかえで共済還元事業、資金融資等各種支援制度の活用促進など、会員事業所の支援に努めて参りました。

昨年、美濃市は市制施行60周年を迎え、また本美濃紙が世界無形文化遺産登録に決定されるなど、記念すべき年となりました。地方創生に向けた新たな取り組みが求められる時代の中で、商工会議所の役割は益々高まっています。美濃市の長所を最大限生かし、先見性を持った事業展開に努め、“信頼され、頼りにされる会議所”を目指し、今後も一層の努力をして参ります。

平成26年度収支決算総括表

自：平成26年4月 1日  
至：平成27年3月31日

(単位：円)

会計種別	繰越金	収入	支出	収支残高	繰入金 繰出金		差引残高	備考
1 一般会計	2,120,409	33,051,189	37,984,132	△ 2,812,534	13,713,000	7,957,956	2,942,510	繰入金は 中小企業相談所・ 共済事業及び会館運営 特別会計・財政調整積 立金特別会計より 繰出金は中小企業相談 所・退職給与積立金へ
2 中小企業相談所 特別会計	99,999	31,305,491	31,835,154	△ 429,664	7,272,088	6,750,968	91,456	繰入金は一般会計より 繰出金は一般会計・ 退職給与積立金へ
3 共済事業及び会館 運営特別会計	3,635,381	21,750,414	16,738,414	8,647,381	0	4,470,420	4,176,961	繰出金は一般会計・ 退職給与積立金へ
4 退職給与積立金 特別会計	41,512,412	0	2,297,155	39,215,257	3,357,256	0	42,572,513	繰入金は一般会計・ 中小企業相談所・ 共済事業及び会館運営 特別会計より
5 財政調整積立 特別会計	22,500,000			22,500,000	0	4,620,000	17,880,000	繰出金は一般会計
合計	69,868,201	86,107,094	88,854,855	67,120,440	24,342,344	23,799,344	67,663,440	